

日時・場所	平成29年10月2日(月) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、大藤議会事務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- ・ 昨日、希望が丘において、市として3年目の支援となる都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会が開催され、全国から多くの選手が参加された。80歳を超えた方も普通に長距離を走っておられた。小学生の部では、近隣自治体の子どもたちが多く参加していたが、本市の子どもたちは運動会の予備日ということで、残念ながら参加はなかった。70歳～80歳の高齢者が当たり前前に走っておられる姿には、本人もさることながら、応援していてもすごく感動した。
- ・ 「お役所仕事」という言葉があるが、市民病院整備の議論の中で、市の直営を否定し非公務員型の運営を評価する議論がある。一般的に、役所の仕事だから質が悪い、効率が悪いということではなく、本市においても各部署においてかなり効率的かつ緻密に進めてもらっているが、社会通念としてはまだまだそのような議論があるようである。特に、我々と接する機会が多い議員にそのような意識があり、しっかりと受け止めて改善を図っていかねばならない。役所と民間という対比をすると、ついつい民間を評価しがちだが、民間がすべてベストではなく、認識を変えていかねばならない。徐々に良くなってきているが努力を続けること。
- ・ 日常業務について協議を受けている中で、結果を出す過程で行う作業について、随分良くなってきているが、まだまだスリム化・効率化できると感じるケースが結構ある。仕事を減らすのではなく、作業を減らす観点で取り組むこと。当然それぞれの職員が効率化を進めていかねばならないが、大きく視野を広げて見ることができるのは部次長であるので、自らも無駄な作業を省くとともに、もう一段積極的に組織として効率化を図るよう努めること。特長、特質、癖は同じようなものだが、うまく機能すれば特長、特質だが、そうでないと癖になってしまう。必要のない作業をしたり、言い訳のために作業をしたり、自信がないからといって、過大な資料を整えたりすることの裏には多大な時間と労力と金がかかっている。作業を効率化してもう一段の業務改善を進めること。

2. 報告事項

なし

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が、野洲市議会議員一般選挙と同日の10月22日に執行される。特に開票事務は夜遅くに及ぶため、職員の負担軽減のためにできるだけスムーズに進むよう検討する。(総務部)
- ・ 総合計画ロードマップの市長ヒアリングを10月11日と12日に実施する。それに先立ち、政策調整部長ヒアリングを10月3日と4日に実施するので、準備と各部次長の出席を願う。(政策調整部)

5. 次回部長会議の予定

10月10日(火) 8時45分～ 庁議室